

シリーズ連載 かしこい消費者としての学校選び 第5回

～ 夏目前！オープンキャンパスに行く前に「絶対に」知っておいてほしいポイント！ ～

さて、夏休みが目前に迫ってきました。この夏休み期間中に、「オープンキャンパスに行こう！」と思っている人も多いはずですね。

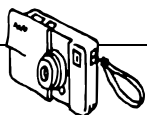
そこで、今回は「オープンキャンパスに行く前に絶対に知っておいてほしいポイント」と題して学年だよりを編集してみました。効率的にO、Cに参加するために、そして、大学や専門学校の「甘い言葉」に吸い寄せられて、自分が本当にやりたいことを見失ってしまわないように、しっかりと読みこんでから参加してください。

去年と同じ夏休みを過ごしては、去年と同じ2学期しか訪れません。大学や専門学校を実際に見ることで、**2学期以降の勉強や学校生活の「励み」となるよう、積極的に参加しましょう。**夏休みに家族旅行の計画がある人は、保護者の方に頼んで大学見学をコースに組み込んでもらうのもいいかもしれませんね。

基本編

0 以下のポイントは最低限押さえて参加しよう

- ① 今年行く。3年になってからでは遅い。
- ② 複数行く。1校で終わらせない。
ただし、手当たり次第に何校も行くのはNG。ある程度的を絞って行く。
- ③ 各学校の比較シート（または情報整理ノート）を作る。
- ④ 知りたい情報をピックアップしてから行く。（取れる資格は？学費は？施設は？など）
- ⑤ 興味の無い友達連れて行かない。自分も興味のないところにはついていかない。
- ⑥ デジカメは必須。許可を得て、どんどん記録を残す。
- ⑦ 動きやすい服装で参加する。広大なキャンパスを歩き回ると、結構疲れる。
- ⑧ 帰って来たら情報を整理してまとめる。
（何校も行くので、記録を残さないとぼんやりとしたイメージしか残らなくなる。）



授業の宣伝 編

1 有名講師陣による講義も受けられる！ はどこまで信じられるか？

有名講師の講義も受けられる！（年に2回だけれど……）

有名講師の講義も受けられる！（抽選で20人しか受けられないけれど……）

有名講師の講義も受けられる！（選抜試験に合格した人だけだけれど……）

これでは、実際に有名講師の講義を受けられるかどうかは「？」ですね。



2 ○○と△△の資格の同時取得が可能！ は、実現可能か？

○○と△△の資格の同時取得が可能！（抽選で20人だけだけれど……）

○○と△△の資格の同時取得が可能！（選抜試験に合格した人だけだけれど……）

○○と△△の資格の同時取得が可能！（毎日休み時間もないような時間割を組む必要があるけれど……）

○○と△△の資格の同時取得が可能！（実習先は自分で探してもらうけれど……）

○○と△△の資格の同時取得が可能！（追加費用がものすごくかかるけれど……）

これまた、本当に希望する資格すべてを取れるかどうかは「？」ですね。

入試・学校の雰囲気編

3 在学生が充実していそうで、とても優しいのは当たり前、教授と仲が良さそうなのも当たり前

オープンキャンパスは協力的な学生の「ボランティア」で成り立っています。ということは、その場にいる学生は「この学校に入って良かった」と思っていて、「学校生活が充実している」人のはずです。

「この学校に入って後悔している」、「できれば辞めたい」という人は、たぶん参加していないのです。そして、何らかの理由ですでに辞めてしまった人や、もう何ヶ月も授業に出席していないという人は絶対にいません。だから、**オープンキャンパスにいる学生が楽しそうで充実していそうなのは当たり前、教授や職員と仲が良さそうなのも当たり前**です。（余談ですが、と、いうことは『先輩が優しい』のは、学校選びの基準にはならないということですね。）



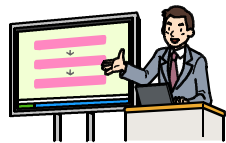
スタッフが
やさしいのも
当たり前です。

→ 裏面に続く

4 自分の学校の欠点は絶対に言わない

これは当たり前ですね。自分の学校のことは、良いところしか宣伝しないです。自分が学校の宣伝担当だったとしても、そうします。とくに、曖昧なものについてはそうすると思います。資格試験の合格者数は水増しできないけど、「雰囲気の良い学校です」とは言いやすいですからね。だから、説明してくれる人の言葉を完全に信用しきってしまわないように注意しましょう。

逆に、賢い消費者として、学校に質問してみるのもひとつの手段かもしれません。「貴校、貴学の弱点は何ですか?」「同じ資格の取れる〇〇学校と比べてどこが弱点ですか?」って。(たぶん高校生には難しいですけどね。そのくらいの意気込みはもってもらいたいです。)



5 質問に対する答えは「ほぼ完璧に」用意されている

進路の大原則「あなたがやりたいことは、みんながやりたい。」にしたがって考えるならば、「あなたが知りたいことは、みんなが知りたい」のです。だから、あなたがしようと思った質問は、他の高校生も、そしてこれまでの先輩たちも、多くの人がしてきた質問のはずです。

ということは、同じ内容の質問に毎年数多く答えている学校の担当者からすれば、当然、「学校にとって不利になるような答え」は出さないようしますよね。だから、**あなたがどんなに鋭い質問をしても、学校の不利になるような情報は引き出せない可能性が高い**のです。

学校によっては「想定される質問集」と、「回答マニュアル」を用意している所もあると聞きます。学校の不利益になる情報(＝学校に対するマイナス情報)は、学校からは引き出せないと思ってください。

6 低すぎるハードルは疑おう

これは、2年生の皆さんにはあまり関係ないのかもしれませんが、念のためお伝えしておきます。オープンキャンパスで、むやみやたらにAO入試の受験を勧めたり、推薦入試の受験を勧めたりするところは要注意です。早めに合格を出して、学生を確保したいという学校側のねらいにそのまま乗っかってしまうのは、やめましょう。

ましてや、「オープンキャンパスに3回来たらA. O入試の小論文免除」なんていう制度があったり、「きみくらいの成績ならたぶん合格できるから、推薦やAOで受けてみなよ。」なんて勧誘をされることがあったりしたら、すごく警戒してください。他にも、たとえば理系の学部なのに「高校の時文系コースにいても(つまりは数学や理科を本格的に学んでいなくても)、入学後にサポートがあるから大丈夫だよ。」なんていうセリフにも気をつけたいですね。学校の誠意が疑われます。

入試のハードルが低いということは、**ハードルを下げてでも「お客さん」を確保したい**ということです。自分に有利な仕組みや制度はどんどん活用すべきですが、**ハードルの低さにつられて自分を安売りしてしまうのは考えもの**です。



7 特待生入試や大学への編入制度は、制度の有無ではなく、合格実績を知ろう

受験生確保のために「特待生入試」を大々的に宣伝する学校もあります。「成績優秀者は入学金免除」とか、「成績上位者は受験料返還」とか。

注意してほしいのは「制度が有るか無いか」ではなく「実際にどれくらいの成績の人が、何人、その特待生に選ばれたのか」です。

そんなことをしている学校は無いとは思いますが、「特待生入試制度はあるけれど、実際に特待生になれた人は、5年間で1人。」なんていう制度だったら、無いのに等しいですからね。

同じように専門学校や短期大学にある「〇〇大学への編入も可能」という制度についても、制度の有無ではなく、実績を詳しく調べてみる必要があります。



おまけ ノベルティグッズは先輩の授業料でできている

ボールペンとか、クリアファイルとか、ふせんとか、たくさんもらえますね。オープンキャンパスに行くとか。

でも、**そのグッズはどのお金で作られているのか**。ちょっと考えればわかります。**その出所は、在学生が払った授業料**です。これはつまり、自分が入学したら自分の入学料や授業料も、そういうノベルティグッズ代に消えるということを意味します。同じように、やたらとテレビでCMを放送しているとか、きれいなデザインのウェブサイトを展開していて、検索の1番目に名前が挙がってくるとか、これらに使われる宣伝費も、多くの場合、先輩たちの授業料からまかなわれていると考えるべきでしょう。

そのこと自体を悪いとは思いませんが、そういう実態は、知っておくべきだと思います。そして、自分がこれからそういう「**大きなお金の流れ**」に身を置くのだと意識して進路に向けた活動をするのが**重要だと思います**。

おしまい

みなさん、今日、生徒玄関から自分の教室まで、何歩で到着しましたか?



分らないですよ。当たり前です。そんなことを意識したことは無いですから。ですが、たとえば明日の朝生徒玄関に、「ここから教室までの歩数を数えて教室に入りなさい。」と掲示してあったらどうですか? たぶん、何人かの人は試しに意識して数えてみるはずですよ。そしてその結果「〇〇歩だった。」という答えを得るはず。このように、**人は、意識するかしないかによって自分の身の回りの情報を「取捨選択」している**のですよ。

オープンキャンパスについても同じことが言えます。ただ、やみくもに、とりあえず参加するだけでは、何も身につけません。日常生活の中で生徒玄関から教室までの歩数が分からないのと同じ状況になってしまいます。

繰り返しになりますが、オープンキャンパスは、事前に「**何を見てきたいのか。**」「**何を知りたいのか。**」を整理してから行くこと、「**どこに気をつけなければいけないか**」を意識してから参加することが大切です。

今回の学年だよりも、皆さんのオープンキャンパス参加計画に何らかの「指針」を与えることになれば幸いです。では、行ってらっしゃい! 充実したオープンキャンパスにして来るんだよ!!